

私の写真館

私の日々の活動の中から皆様に伝えたいことを写真に現します。

みなさんは延岡の海の中を覗いてみたことがありますか？

それはそれは、昔読んだ「浦島太郎」の竜宮城のような、未知の世界を楽しめる豊かできれいな海なんです。海の中に潜るのは簡単。私服のままドライスーツを着ることができ、講習を入れても半日で楽しむことができます。

みなさんも、一緒に潜ってみませんか？

協力：延岡マリンサービス

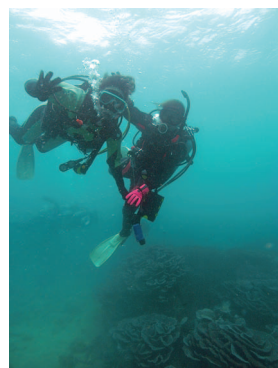


私は11月と12月の2回にわたり、延岡市内に40ヶ所もあるダイビングスポットの1つ、延岡市浦城町の天神の海に潜りました。冬の海は透明度が増し、海の中を覗くには最高の時期です。

日本一の大きさを誇る「オオスリバチサンゴ」やテレビ放映で有名になった「カエルアンコウ」を見ることができ感激しました。多くの色鮮やかな熱帯魚たちが一緒に泳いでくれるんですよ。最高です。

ダイバーの方のお話によると、県外からの観光客も多く、年間3000人以上のダイバーを受け入れてるそうです。その中には200回以上潜られた方もいらっしゃるそうです。「カエルアンコウ天国」とも呼ばれるほど、全国でも珍しいカエルアンコウを高い確率で見ることができます。

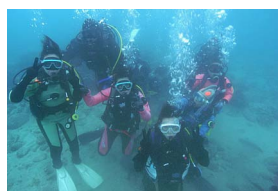
カエルアンコウは12種類います。そのうち、延岡には6種類のカエルアンコウがいるそうです。海の中ではほとんど動かず、ヒレを足のように使い、潮の流れにまかせ揺られながら歩くように泳ぎます。おなかですいたら頭の先から釣り竿のようなものを出し、その先についた疑似餌に向かって近づいてくる小魚を一瞬のうちに食べます。その速度は、魚の中で一番速いそうです。



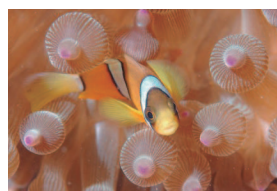
この浮遊感は体験しないと分からない気持ちよさです！



オオスリバチサンゴの前で



一緒に潜ったみなさんと



可愛い熱帯魚にも出会えます！



こちらが噂のカエルアンコウ！



延岡市が浦城地区で進める「ダイビングタウン延岡整備事業」の一環として、11月23日に九州初のダイビング専用タラップができました。これにより、車椅子の方でもスタッフの介助で海に入ることができるそうです。これから3年間、案内看板の設置や特産品市「夕焼け市」の開催、島巡りクルージング、ブルーツーリズムツアーの推進などに取り組まれます。

自然豊かで感動できるものが身近にある延岡市。海だけ見ても、魚釣りや、スキューバダイビング、シュノーケリング、ボディーボード、クルージング、ジェットスキー、サーフィンなど、楽しみ方はまだまだたくさんあります。

今回はほんの一部でしたが、延岡の魅力を皆さんに知っていただけたのではと思います。

私の後援会会長をご紹介します。

西府 茂樹(さいふ しげき)さんです。



↑読み聞かせ中の西府さん

これまで、数多くの活動を共にやってきた仲間であり、大先輩でもあります。先日は、西府さんが岡富小学校PTAのお父さん方と活動している「お父さんの読み聞かせ」にお邪魔しました。「三びきのやぎのがらがらどん」を読む西府さんに、食いつくように聞き入る子どもたち。迫力と優しさを感じるその声から、子どもたちを育む父親の愛情を感じました。

うちだりさ後援会事務所のご案内

ニココイクハハ  
tel&fax 0982-22-1988

〒882-0856 延岡市出北4丁目3200-1  
(国道10号線沿い)

日々の活動をホームページで紹介しています！

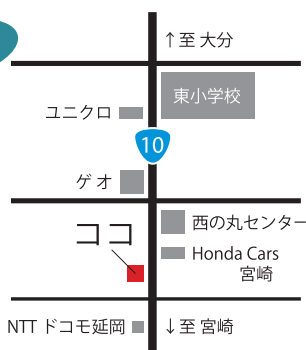
[www.uchidalisa.com](http://www.uchidalisa.com)



携帯電話からは左のQRコードを読み込んでアクセスできます。

「うちだりさブログ」見てね！

周辺地図



お知らせ

ホームページ「うちだりさドットコム」をリニューアルしました。見た目だけでなく、内容も新しくなっていますので、ぜひご覧下さい。

